この国の乾季のさわやかさが、好きだ!

Manar Guide Book

Japan - Myanmar Guide Book

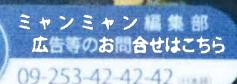
10 Oct 2017

飲み水は安全・安心? 独自調査!ヤンゴンのお水

佛集 ②

若者100人に聞いた! ミャンマー人の恋愛・結婚

他、News、連載コラムなど





日本語能力試験(JLPT)のミャンマーの受験者は、大使館のサイトによれば、昨年は1万人弱だったのに対し、1万5千人以上に増えた。ここ数年は毎年1.5倍のペースで増加している。









恒例の行事が"大会ベスト"更新!? 8月下旬に、日本語の大会が立て続けに2つ開催!

学びへの情熱を切るける著書たち。その思いよ日本に属け

在 ミャンマー日本大使館とMAJA(ミャンマー元日本 留学生協会)主催の「第18回日本語スピーチコンテスト」が8月20日、ヤンゴンのパークロイヤル・ホテルで行われた。ヤンゴンとマンダレーで一次予選が行われ、応募49名か 615名が本選に出場した(当日参加は13名)。

5分間の持ち時間で、各自のスピーチを披露。笑いありの発表も多く、発表者と会場が一体となる場面も見られた。自らの経験を通して、いかに自分の考えを言葉で伝え、いかに日本人に近い自然な話し方ができているかなど、審査基準は厳しい。今年はヤンゴン外国語大学(YUFL)の活躍が目立った。

記者は過去4回見ているが、年々レベルが上がってきているように感じた。たとえば、質疑応答もポイントの1つで、答え方や切り返しの上手な人が多くなったように思う。優勝したのは Kina Sabai Sintさんで、テーマは「真心」。今秋にASEAN各 の場場者とともに、東京で開催されるプログラムへ参加する。 一方、8月24日にヤンゴンのノボテル・ホテルで行われたのは、共立国際交流奨学財団の主催、MOMIJI日本語センター運営の「第7回日本語体験コンテストinヤンゴン」。こちらは応募者72名。午前の1次審査では、日本の政治や経済、スポーツ、芸能、歴史など、さまざまな分野から30間。高得点者17名が、午後の本選へ。

本選ではテーマが3つ出題され、各自が1つを選択し、考える時間は5分間。その後、まとまった人から挙手をし、3分間以内でスピーチ発表という何ともスリリングな課題だ。早く挙手をし、内容も認められれば1番の高ポイントになる。過酷と思われる選考に、詰まったり、短くなったりで緊張感が演載だ。人賞した5名は来年1月、1週間の日本体験旅行に参加する(他の東南アジア各国からの人賞者も同時に参加)。

日本への関心や日本語の需要が高まるにつれて、今後もこのようなコンテストは大いに盛り上がっていくはずだ!